

# この山に登ろう②④

## ブナ林を堪能しよう！

が りゅう さん  
**臥 龍 山**

1223.4 m

山県郡北広島町



登山道にて

広島登山研究所 代表 **松 島 宏**

臥龍山はブナ林で有名です。北広島町八幡、地元では刈尾山と呼ばれています。登山口は聖湖キャンプ場、八幡高原千町原、掛頭山方面の猿木峠からの3ルートがあります。

私がキノコ狩に熱中していた頃、臥龍山にはよく通いました。頂上稜線と林道の間を何度も往復して、立ち枯れのブナや倒木から沢山のキノコを採りました。

登山口へのアクセスは戸河内ICから国道191号線を進み、八幡高原191スキー場から右

折します。今回は八幡高原の千町原から臥龍山に登り、猿木峠から下山するコースを紹介します。八幡高原の「高原の自然館」が登山基地となります（写真1）。駐車場に車を置いて周回しましょう。

「高原の自然館」から西に800m車道を辿ると千町原の登山口があります（写真2）。秋だとなだらかなススキの原を南に向かって登っていきます。やがて森になり、小さい沢を二つ超え、登山口から約600m沢を渡ると尾根に取り



斜線は磁北線 東西約 500 m間隔 長さ約 1km に設定



写真1：高原の自然館、刈尾茶屋、駐車場



写真2：登山口



写真3：登山道のブナ巨木

付きます。ミズナラを中心とする落葉広葉樹の森が続きます。素晴らしい森です。

標高が上がるにつれてブナが増え始めます。標高970m付近の谷状の部分で水が流れています。ここから尾根に上がるとブナの巨木が目立ち始めます(写真3)。圧倒的なブナ林の極相(クライマックス)です。

やがて八合目の林道に出ます。標高1100m、雪霊水せつれいすいが湧き出しています(写真4)。雪霊水はブナの森の湧き水で、口に含むと甘く感じます。林道の終点ですので、水を汲みに車が多く上がってきます。登山者としては、林道を廃止して、歩いて登った人だけへのご褒美として欲しいと思うのですが、いかがでしょうか。

標高差100m登れば頂上です。頂上には高さ2m位の岩があり、子ども達は登って遊びます。冬になると雪に埋もれてしまいます。2011年3月には岩が消え、雪の下1mでした。3m位の積雪がありました。

さて北に向かって猿木峠に向かいましょう。下りてゆくと雪霊水からトラバースしてきた登山道に合流します。鞍部に下りて1123.6mピークに登っていきます。この辺りのなだらかなブナ林には倒木が沢山あり、きのこ狩りにはもってこいの場所です。登山道

から少しそれて藪漕ぎをすればキノコが見つかるかもしれません。

猿木峠は掛頭山への最低鞍部です。古い標識があるのでわかります(写真5)。峠から少し行くと掛頭山への林道に出ます。猿木峠から尾根を北西に降りていきます。登山道には少し笹がかぶっていますが、迷うことはありません(写真6)。

やがて谷筋の植林に出て谷を30分も下れば林道に出ます。この林道は二川ふたごうのキャンプ場に繋がっています。林道を左に向かい、約600mでスタートした「高原の自然館」に帰れます。

臥龍山には西側の聖湖キャンプ場入口の300m手前からのルートもあります。このルートも素敵なブナ林を経由します。雪霊水へ向かう林道のヘアピンカーブをかすめての尾根のルートです。車の移動ができれば縦走してもいいですね。下山したら「高原の自然館」に寄って八幡高原の自然を学習しましょう。芸北温泉、芸北オークガーデンで汗を流して帰りましょう。

#### 行程

高原の自然館→20分→千町原→90分→八合目→20分→臥龍山頂上→60分→猿木峠→60分→高原の自然館(聖湖キャンプ場からも同タイム)

所要時間 4時間30分

(まつしま ひろし)



写真4：八合目の雪霊水



写真5：猿木峠の標識



写真6：猿木峠からの下山道